

3期生（3学年） 総合的な探究の時間

1 概要

3年間を通して、国際的な視野を持ち、主体的に考え探究する人間性の育成という目標のもと、日本の実情を理解し、比較文化の学びを通して海外との違いを深める研究を行っている。令和4年度は、昨年度に引き続き、SDGsに関連した9つのテーマ（①教育②人権③平和④環境⑤労働⑥産業⑦福祉⑧ビジネス⑨健康）の中から、いずれかに関連する各自の興味のあるテーマについて、特定の国や地域が直面している課題について調査し、自身の進路と関連づけて解決策・改善策を検討するという内容で探究活動を行った。

2 年間指導計画

月	テーマ	観点		
		知識・理解	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度
4	テーマに関する具体的な事例紹介	○		○
5	設定したテーマに関する課題の調査、及び自身の進路との関連を見いだす	○	○	○
6				
7	設定したテーマに関する課題について、進路と関連した解決策・改善策の検討		○	○
8				
9				
10	レポート作成		○	○
	発表スライド作成、発表準備		○	○
11	発表			○
12				
1				

3 取組の具体的な内容

(1) テーマに関する具体的な事例紹介

SDGsに関連するテーマにおいて生じている課題の解決策として企業が実際に行っている事例を学んだ。それにより、生徒は解決策や改善策をどのような視点で検討していけば良いかを学んだ。

(2) 設定したテーマに関する課題の調査、及び自身の進路との関連を見いだす

設定したテーマに関して、どのような問題・課題が生じているかを、昨年度探究したものをもとに整理した。また自身の進路と関連させて課題の解決策・改善策を検討していくために、まず自身の進路が社会においてどのような分野と関わっているのかを深める等、自身の進路についての理解を深める活動を行った。

(3) 設定したテーマに関する課題について、進路と関連した解決策・改善策の検討

上記の(2)をもとに、設定したテーマに関する特定の国や課題が抱える課題について、進路と関連した解決策・改善策の検討を行った。また、提案した解決策や改善策に問題点が無いか、ある場合はどのような点を改善すればよいかを再度考え、解決策や改善策がより説得力のあるものとなるようにした。

(4) レポート及び発表

レポートの構成は①序論 ②本論 ③結論 ④参考文献リスト という構成で、2000文字以上のレポート作成を行った。発表についても、レポートと同様の内容・構成で一人5分程度の発表を行った。

・レポート及び発表のタイトル例

「カンボジアとアフリカの貧困問題とインフラ整備について、現代経済学と関連づけた改善策」

「ウガンダにおける貧困問題～心理ケアの側面から～」

「フィリピンにおける就学前教育の支援について、幼児保育の心理分野と関連付けた改善策」

「アフガニスタンにおける女性差別について助産学と関連付けた解決策」

「ヨーロッパ諸国におけるジェンダー平等について、客室乗務員のあり方と関連付けた解決策」

「日本と EU の海洋汚染対策の比較及び IT 分野と関連付けた解決策」

「アジアにおける食品ロス問題について美容と関連付けた改善策」

5 今年度の活動を振り返って

世界が抱える社会課題について、自身の進路と関連付けて解決策や改善策を検討することで、自身の進路と関係がなさそうに思われるテーマにおいても、進路との関わりを見いだすことができ、それにより自身の進路が様々な分野に関連していることを感じる事ができたのではと考える。また、社会課題についても、様々な側面から解決策を検討することができ、様々な視点で物事を捉えることの大切を知ることができたと考える。